

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン両国東口		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日 ～ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日 ～ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な運動を通し、できる動作や種目が増え、達成感や自信につなげられる。	・継続的に学校体育などをサーキットコースに取り入れたり粗大運動などを取り入れたたりし、スモールステップで1つ1つの動きや動作を習得できるよう意識しながらメニューを考えている。また、お子様本人へ学校体育などは取り組みたいことなども訪ね、意欲的に取り組んでもらえるよう声掛けを行っている。	・引き続き、継続的に学校体育などを取り入れていく。また、新しいメニューなどの取り入れ、新鮮さを感じ、チャレンジ精神も付けられるようレッスンを考えていく。
2	・お子様や保護者様と関わりを深くもてる。	・少人数制にて行っているため、保護者様からの相談などもフィードバックの時間などで話しやすい環境と取れている。お子様が困っている時などもスタッフがすぐに声をかけることができる体制を取れている。	・お友達同士のコミュニケーションも深められるようスタッフが仲介するなどサポートを行っていく。また、チーム戦などもたくさん取り入れるなど考えていく。
3	・運動スペースが広く、十分な運動量を確保できる。	・フロア全体を使った運動を取り入れ、活動量を十分に確保している。また、個々での練習際には他の児童と接触がないように余裕を持ったスペースで運動に取り組むことができる。	・広いスペースから段々と狭くしレベルアップを図った運動を取り入れたたり、力いっぱいボールを蹴る運動を取り入れることで力加減の練習を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部施設との連携が少ない	・他事業所や保育園などとの連携が少ないため、情報共有など乏しい部分がある。	事業所間で連携をとることができるよう他事業所の皆様との顔合わせなど機会を設けていく。相談支援事業所の方へも連携をとることができるよう相談を行っていく。
2	・スタッフの知識の質	・経験の浅いスタッフもいるため、専門的な知識など、より共有や一律化を深める必要がある。	毎日のミーティングなどでお子様の情報や支援方法を確認、相談を行いながら、実際にシミュレーションを行うなどして、知識などの質を高めていく。また、その後のフィードバックも行い、よりよく成長できるようにする。
3			